

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月29日

上場会社名 株式会社ヤクルト本社 (コード番号：2267 東証・大証第一部)  
 (URL <http://www.yakult.co.jp>)  
 代表者 代表取締役社長 堀 澄也 (TEL：(03)3574 - 8960)  
 問合せ先責任者 取締役 大坪 勝己

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無  
 における認識の方法との相違の有無

## 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 売上高

(注) 記載金額は百万円未満切り捨てて表示しています。

	平成16年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	平成15年3月期 第1四半期	参考 平成15年3月期
売上高	百万円 58,670	%	百万円	百万円 242,740

- (注) 1. 売上高の数値は、監査法人の監査を受けていません。  
 2. 当該四半期から四半期業績の開示を行ったため、対前年同四半期実績および増減率については記載していません。  
 3. 連結子会社の決算日は12月31日であり、当該四半期実績は1月1日～3月31日の実績となります。  
 4. 当該四半期の販売実績を事業の種類別ごとに示すと次のとおりです。

(単位：百万円)

事業の種類	平成16年3月期 第1四半期	参考 平成15年3月期
飲料および食品 製造販売事業	49,816	207,261
医薬品 製造販売事業	4,999	21,045
その他事業	3,854	14,433
合計	58,670	242,740

### 5. 当該四半期の販売実績を所在地別ごとに示すと次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	平成16年3月期 第1四半期		参考 平成15年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
日本	48,573	82.8%	204,365	84.2%
米州地域	6,001	10.2%	23,236	9.6%
アジア・オセアニア地域	1,682	2.9%	7,295	3.0%
ヨーロッパ地域	2,412	4.1%	7,843	3.2%
合計	58,670	100.0%	242,740	100.0%

(注) 所在地間の取引については相殺消去しています。

[売上高に関する補足説明]

・飲料および食品製造販売事業部門

乳製品については、ビフィズス菌類の商品が厳しい状況にあるものの、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」「ヤクルト400」および本年4月にパッケージデザインをリニューアルしたハードタイプヨーグルト「ソフル」やソフトタイプヨーグルト「ピュアラ」を中心に、乳製品全体としては好調に推移しています。

ジュース・清涼飲料については、本年3月に発売した中性脂肪上昇抑制ドリンク「レネファ」や本年6月に発売した胃にやさしい健康茶飲料「いたわり茶」が着実に実績を伸ばしたものの、その他の商品は他社との競争の中にあって、総じて厳しい状況で推移しています。

海外については、米州地域においてブラジルの販売本数減少の影響があるものの、アジア・オセアニア地域、ヨーロッパ地域ともに順調に業績を伸ばしており、全体では好調に推移しています。

なお、平成15年6月度の1日平均販売本数は1,569万本となっています。

・医薬品製造販売事業部門

医薬品については、国内外の「カンプト注」をはじめとして、一般用医薬品・医療用医薬品も前年を上回る実績を示しており、好調に推移しています。

・その他事業部門

化粧品については、ギフト用の新商品を発売したほか、ポッシュママシリーズに「さらさらサンスクリーン」を追加発売するなど、季節商品、ギフト商品を中心とした販売活動を積極的に展開し堅調に推移しています。

(参考)平成16年3月期第1四半期売上高(個別)

	平成16年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	平成15年3月期 第1四半期	参考 平成15年3月期
	百万円	%	百万円	百万円
売上高	40,150	1.3	39,638	160,826

(品目別内訳)

(単位:百万円)

	平成16年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	平成15年3月期 第1四半期	参考 平成15年3月期
乳製品	20,515	5.5	19,451	77,218
ジュース・清涼飲料	10,860	10.4	12,125	47,387
化粧品	1,493	2.5	1,456	6,655
医薬品	4,999	7.8	4,635	21,045
その他	2,281	15.8	1,969	8,519
合計	40,150	1.3	39,638	160,826

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事項  
該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
中間期	125,000	14,000	6,000
通期	248,000	29,000	12,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)67円35銭

業績は概ね当初予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。

なお、当社は確定給付企業年金法の施行に伴い、当社厚生年金基金の代行部分について、平成15年6月25日に厚生労働大臣へ将来部分支給義務免除の認可申請をしており、「退職給付会計に関する実務指針」第47-2項に定める経過措置を適用する予定ですが、これによる損益影響額については、現在計算中であり、上記の連結業績予想には織り込んでいません。

以上